

TOKAI

東海防衛だより

2021
令和3年

秋



F-4ラストフライト

秋号の主な内容

- ◆ F-4EJ/EJ改(ファントム)退役(岐阜)
- ◆ 周辺対策事業の紹介(小中学校電子黒板等整備)
- ◆ 情報交換に関する協定締結(久居)
- ◆ 愛三岐の街から(江南市)
- ◆ 東海3県の防衛生産・技術基盤(回転翼哨戒機(能力向上型))
- ◆ 自衛官候補生課程入隊(久居、守山、豊川)

F-4EJ/EJ改(ファントム) 退役 (岐阜基地)



ラストフライト準備のF-4と空自隊員

令和3年3月17日、航空自衛隊岐阜基地において、F-4EJ/EJ改戦闘機（通称・ファントム）の運用終了に伴うラストフライト及び記念式典が執り行われました。

ラストフライトでは、晴れ渡った青空の下、関係者が見守る中、航空自衛隊におけるF-4戦闘機の運用のトリを務め



エレphantウォーク
(前列と2列目中央がF-4)
(飛行開発実験団提供)

る飛行開発実験団所属の3機が飛び立ち、最後の雄姿を見せてくれました。基地周辺には多くの航空ファンが詰めかけ、絶え間なくシャッターを切っていました。

F-4戦闘機は、昭和46年7月に初号機（今回ラストフライトを行った301号機）が米国から小牧基地に空輸されて以降、偵察機を含む合計154機が航空自衛隊の主力機として8個飛行隊に配備され防空の任務に就きました。岐阜基地では、昭和49年から試験母機として飛行したほか、他の航空機の試験飛行の随行や支援機として活躍しました。

その他にも、RF-4E偵察機として、平成3年の雲仙普賢岳噴火、同23年の東日本大震災など災害発生時に被災地の状況を上空から撮影した数多くの写真が、災害派遣活動に活用され、その後も、各地域における災害対策の立案など民生にも役立ちました。



ラストフライト後、感謝を込めて放水アーチ

※放水アーチ：パイロットの引退や航空機の運用終了などのラストフライトでは、彼らへの労いと感謝の気持ちを伝えるセレモニーとして、2台の消防車が両サイドから放水してアーチを作り、その中をフライトを終えた当該航空機が通り抜けます。

今回のフライトをもって半世紀もの長きにわたり、防空、試験支援、民生支援にと幅広く活躍した「ファントム」の運用に終止符が打たれ、多くの関係者、ファンらに惜しまれながら退役しました。

当支局においても、空自納入時、或いは、定期修理など「ファントム」に係る検査等に多くの検査官が携わりました。

F-4EJ/EJ改戦闘機諸元 乗員：2人
機体：全幅11・7m 全長19・2m 全高5・0m
エンジン：2基 推力8千百20kg/1基
性能：最大速度マッハ約2・2 航続距離約2千9百km
搭載武器：20mm機関砲1門 空対空ミサイル4×2

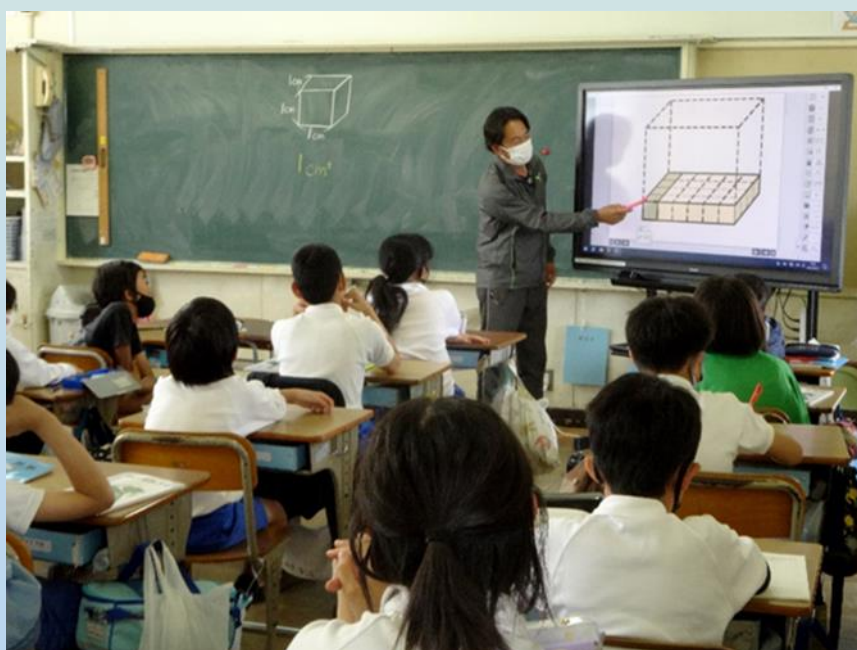
小中学校電子黒板等整備

(教育、スポーツ及び文化の
振興に関する事業)

明野飛行場
周辺

防衛省では、駐留軍等の再編に
関し、航空機による訓練移転等を
実施した防衛施設の周辺地域に対
し、訓練移転に伴う航空機騒音
等の影響が継続されることを配慮
し、住民の利便性の向上や産業の
振興に寄与する事業に充てるため
再編関連訓練移転等交付金を交付
しています。

訓練移転等が実施された明野飛
行場が所在する伊勢市へは、令和
元年度と2年度に合計約5千5百
万円を交付しており、市内の公立
小中学校の電子黒板、机椅子、楽
器、給食調理機器の整備のほか、
スポーツ施設の卓球台等や防災倉
庫等の備蓄用物資が整備されまし
た。中でも電子黒板の整備が進み、
この2年間で小学校23校に79セッ
ト、中学校8校に14セット合計93
セットが導入されました。(交付
額約2千4百万円)



小学校での授業の様子

伊勢市では、平成21年度から市内の公立小
中学校への電子黒板の導入が進められ、平
成27年度からはタブレット端末を活用した
学習も行なわれており、授業で電子黒板を
活用する機会が増えています。

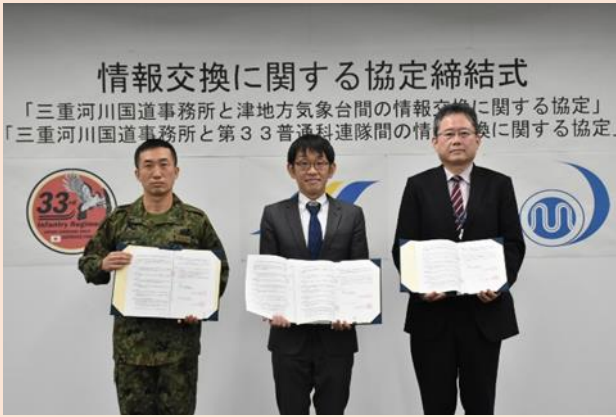
小・中学校の先生の声

- 子どもたちの意見発表の場で活用しやすい
- 生徒のタブレット端末と電子黒板を組み合わ
せて使うことで、より活用の幅が広がった
- 画面が拡大でき、後ろの席からでも見やすい
- 画面からも操作ができ、使い勝手がよい
- 昨今の新型コロナウイルス等の感染症対策と
して、密にならずに理科の実験などを見せるこ
とができる



中学校での授業の様子

国土交通省との情報交換に関する協定を締結 (久居駐屯地)



左から向田連隊長、秋葉三重河川国道事務所長、塩津津地方気象台長 (当時)



締結文書に署名

陸上自衛隊第33普通科連隊 (連隊長・向田俊之 1等陸佐) は、3月11日、国土交通省三重河川国道事務所において、同事務所との間で「情報交換に関する協定」を締結しました。 この協定は、国土交通省が発信する河川の状況などの情報を、国土交通省が久居駐屯地に設置したアンテナで受信し、テレビ画面やスクリーンに映し出すシステムを導入するもので、三重県内に設置されている国土交通省CCTVカメラの映像配信設備を通して関係機関との情報交換を迅速に行い、災害時の連携強化を行うことを目的に締結されたもので、これにより同連隊でも三重県内の河川等の状況をリアルタイムに確認することがで



向田連隊長



河川の様子が映し出される

き、災害発生時の迅速な人命救助等に役立つことが期待できます。 また、今回の締結式においては、同事務所と津地方気象台との情報交換に関する協定も同時に締結されています。 向田連隊長は「今回導入されたCCTVにより、久居駐屯地にてリアルタイムに県内各地の河川の状況を確認する事で災害派遣における迅速な状況判断、人命救助、応急復旧等の任務を行うに資する画期的な器材となることから、その情報を活用し、各関係機関との顔の見える関係を構築して災害対処における実効性の向上を図りたい」とし、本協定による効果に期待を寄せています。

陸上自衛隊第33普通科連隊 (久居駐屯地) 三重県全域の防衛、警備及び災害派遣を任務とし、東南海・南海トラフ地震や豪雨等の大規模災害に備え、関係省庁、県内各地方自治体、警察、消防等との連携強化を進めています。

「愛三岐の街から」



愛知県 江南市

こうなん



澤田和延 江南市長

【暮らしが花ひらく

生活都市 江南】

濃尾平野の北部、清流木曾川の南岸に位置する江南市は、戦国時代には、織田信長や豊臣秀吉が若き日を過ごした地であり、肥沃な土地を活用した農業が発達し、明治時代には、養蚕が盛んになり、絹・人絹織物産地となりました。現在では、名古屋から20km圏内に位置する事もあり、ベッドタウンとして、人口約10万人を有する愛知県尾張北部の生活都市として発展してきました。



曼陀羅寺

市域全体が強固な地盤であるとともに、温暖な気候・風土と相まって、暮らしに最適な自然環境となっている地の利を活かし、「暮らしが花ひらく生活都市」をテーマに、豊かな自然、交通の便の良さ、生活利便の充実を紹介し、生活都市という都市ブランドを市内外に発信するシティプロモーション事業を展開しています。

江南市には、14世紀前半、後醍醐天皇の勅願で建立され、国の重要文化財を含む多数の文化財を所有する「曼陀羅寺」があり、隣接する「曼陀羅寺公園」は、全国的に藤の名所として知られ、4月下旬から5月上旬の見頃には「藤まつり」が開催され約50万人が訪れています。また、北部にある木曾川河川敷には、四季折々の花々や緑に囲まれた国営木曾三川公園の江南花卉園芸公園「フラワーパーク江南」が整備され、公園や宿泊施設、研修施設などを備えた憩い・ふれあい・交流の施設である「すいとびあ江南」と共に、家族連れなど多くの方が訪れる人気スポットとなっています。



藤まつり

江南市の北部では、自衛隊航空機が飛行する姿を目にすることができず。そのため、北部に位置する小中学校には騒音対策、避難所となる体育館の建設などが、防衛施設周辺整備事業の対象となっています。また、毎年8月の基地盆踊り大会は、江南市からも多くの市民が参加し、隊員との親睦を深めており、秋に開催されます航空祭の航空ショーでは、北部の河川敷は、全国から大勢の方が訪れる観光スポットとなっています。今後、基地と防衛施設周辺の自治体が整備事業などを通じ、また、自衛隊員と市民とが交流する機会を通して、自衛隊の活動に対する理解が深まることを期待しています。

【自衛隊との関わり】



すいとびあ江南

新たな防衛計画の大綱の策定とこれを支える 東海三県の防衛生産・技術基盤（その六）

回転翼哨戒機（能力向上型）

新たな回転翼哨戒機の開発

我が国周辺各国等の潜水艦の静粛化及びステルス化が進むとともに、行動海域が浅海域へと拡大しつつあります。

これらの情勢に対処しうる能力を付与した回転翼哨戒機の開発が進められています。これが海上自衛隊で運用されている「SH-60K」をベースに、搭載システム及び飛行性能等の能力向上を図った「回転翼哨戒機（能力向上型）」です。



写真（上・下）：試験飛行中の回転翼哨戒機（能力向上型）



飛行試験開始

「回転翼哨戒機（能力向上型）」の開発において、試作機に必要な地上における確認作業を全て終了した後、令和3年5月12日、県営名古屋空港（愛知県西春日井郡豊山町）で約30分間の初飛行を行いました。

この機は、三菱重工（株）が防衛装備庁との契約に基づき、2015年より同空港に隣接する「名古屋航空宇宙システム製作所」において開発しているものです。今後、2021年度の納入に向けて、引き続き飛行試験を実施する計画です。

東海防衛支局では、品質管理に精通した検査官により、厳格な監督・検査業務を実施しております。全検査官は、重要な装備品が高い品質で自衛隊に納入され、日本の安全に貢献できることに誇りを持ち、職務に邁進しています。

自衛官候補生課程入隊
(久居・守山・豊川駐屯地)

令和3年4月初旬、陸上自衛隊第33普通科連隊(久居)、同第35普通科連隊(守山)及び同第10特科連隊(豊川)において、「自衛官候補生課程」の入隊式がそれぞれ執り行われ、以後6月末までの3か月間、3部隊合わせて約200名の自衛官候補生が、自衛官になるべく課程教育に臨みました。

自衛官候補生課程

自衛官候補生として、約3か月間自衛官に必要な知識と技能を学びます。課程修了後、自衛官(2士)に任用され、各部隊に配置されます。(職種により各特長の課程に入校する場合があります。)



区隊旗授与(豊川駐屯地)



サービスの宣誓(守山駐屯地)

自衛官募集

自衛隊は自律した「ひとつの社会」。
「あらゆる仕事」があるんです。



ドッグハンドラー 人事



基地警備



乗組員



大型ドライバー



広報



歌唱



重機オペレーター



調理



救難



心理幹部

どんな時も自分たちで
任務を完遂できるよう、
あらゆる仕事があります！



通信



航空管制



法務



臨床検査技師



犯罪捜査



音楽演奏



整備



気象



警戒管制



航空機整備



経理



狙撃



システム開発



パイロット



消防



化学



防衛駐在官



ドライバー



偵察

希望と適性に基づく、あなたの能力を活かせる仕事にきっと巡り合えます。

自衛官募集

検索



<https://www.mod.go.jp/gsd/jieikanbosyu/>



自衛隊地方協力本部からのお知らせ

地方協力本部（地本）は、各都道府県にある自衛隊の総合窓口です。

愛知地方協力本部

（電話）052-331-6266

<https://www.mod.go.jp/pco/aichi/>



●「自衛隊 広報ルーム」（名古屋市中村区椿町21-2 第3太閤ビル1階）
自衛隊の写真パネルや模型、実物大の装備品などを展示している楽しいスポットです。自衛隊グッズがゲットできるイベントDAYもありますので、ぜひ遊びに来て下さい！

岐阜地方協力本部

（電話）058-232-3127

<https://www.mod.go.jp/pco/gifu/>



● 自衛隊広報センター「自衛館」（岐阜市神田町9-4）
自衛隊のパネルや「親子プラモデル教室」で作成されたプラモデル、装備品の模型などを展示している楽しいスポットです。ぜひ遊びに来て下さい♪

三重地方協力本部

（電話）059-225-0531

<https://www.mod.go.jp/pco/mie/>



● 各種イベントや自衛隊に関する情報を紹介！
各種SNS（Twitter、Facebook、Instagram）も随時更新中！
詳しくは、ホームページでお待ちしています。

自衛官等募集案内

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
自衛官候補生	18歳以上 33歳未満の者	年間を通じて行っています。	受付時にお知らせします。	合格発表は試験時にお知らせします。

東海防衛支局長着任紹介



東海防衛支局長

松下 陽子

令和3年8月1日付

本年8月1日付けで東海防衛支局長を拝命した松下です。

当支局が管轄する東海3県には、陸上自衛隊第10師団、航空学校、航空自衛隊飛行開発実験団、第2補給処等の主要な部隊や防衛生産・技術基盤が所在しています。我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、部隊がその能力を発揮して十分な活動ができるよう、地域のご協力をいただくための業務、防衛施設に関する業務、防衛装備品の監督検査業務等支局一丸となって遂行してまいります。

今後とも、地域の皆様のご理解とご協力をいただけるよう、誠心誠意職務に邁進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

新着任者紹介



次長（総務、施設）

滝川 和志

令和3年7月1日付

本年7月1日付けで東海防衛支局次長を拝命した滝川です。

東海防衛支局での勤務は2度目となりますが、再びこの地で勤務できることを大変楽しみにしております。東海防衛支局が管轄する東海3県には、多数の重要な防衛施設や防衛生産・技術基盤が所在しており、我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中であって、自衛隊の活動の基盤を支えるこの地域は、我が国の防衛・安全保障にとって益々重要なものとなっております。今後とも、関係自治体をはじめとする地域の皆様との信頼関係を大切に、さらに発展するようしっかりと取り組んで参りますので、よろしくお願い致します。



岐阜防衛事務所長

1等空佐 片岡 智

令和3年7月1日付

本年7月1日付けで岐阜防衛事務所長を拝命した片岡1佐です。

地方防衛局での勤務は今回が初めてですが、岐阜防衛事務所が所在する航空自衛隊岐阜基地には、これまでに3回の勤務経験があり、土地勘は十分にあるつもりです。当事務所の主たる業務である装備品等に係る監督・検査については、過去の経験を活かしながら、全所員とともに適正・的確に実施して参りますので、よろしくお願い致します。

